

目標達成計画

作成日:平成30年3月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設独自の理念が構築されていない	新年度の始まりには、新しい理念のもとでスタート出来る様にする。	各職員に理念の大切さを伝え、各ユニット会議等を通じて、いくつかの案を出し、その中から管理者によって理念を定めていく。	1ヶ月
2	6	身体拘束についての徹底がされていない	指針を見直し、ホーム全体で身体拘束についての研修を行う。委員会を立ち上げる。	委員会については新年度よりスタートする。講習やユニット会議を通じて見直す機会を設ける。	3ヶ月
3	35	自然災害による、防災についてのマニュアル等が整備されていない。	防災委員を中心に、指針、マニュアル、備蓄品等を見直す。	運営会議等を通じ、地域の方にも、自然災害による地域ならではの注意点等を確認し、沼津市のハザードマップを活用し、指針。マニュアルを再検討し、全職員への情報の共有を行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。